

議会報告会 会場報告書

担当班：2班 班代表者：恒田 正美

概要			
地区名 : 味間地区 日時 : 平成29年5月19日(金) 19:30~21:00 場所 : 四季の森生涯学習センター 参加人数 : 29人(男28人・女1人)	【出席議員】 恒田 正美 足立 義則 木戸 貞一 河南 克典 前田えり子 大西 基雄	(1) 開会あいさつ : 恒田 正美 (2) 議会報告 : 木戸 貞一 (3) 質疑応答 : 下記参照 (4) 意見・提言等 : 下記参照 (5) 閉会あいさつ : 大西 基雄	挨拶・総括 : 恒田 正美 司会進行 : 足立 義則 報告 : 木戸 貞一 受付・記録 : 河南 克典 前田えり子 会場(マイク) : 大西 基雄

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・現在の財政状況はどうか。	・合併時に280億円あった借金が180億円に減少しており、平成31年度には、プライマリーバランスが均衡する見込みです。企業会計等においても経費を抑える努力をしています。
・市の財産であるおとわ園跡地を活用し、子育てふれあいセンターとして運営するため、NPO法人に運営補助金を出すとのことであるが、その際に施設使用料は発生するのか。 ・市の取り組んでいる事業の中には、NPO法人など様々な団体に委託して進めているものもあることから、市が委託する事業と団体の独自事業の線引きを明確に区別して、誤解を生む施設の運用等がなされないよう取り組んでいただきたい。	・子育てふれあいセンターとして運営するために使用する部屋等については、使用料は免除になりますが、NPO法人の独自事業をするために部屋を使用するとなれば使用料をいただくことになります。 ・議会として注視していきます。

質疑・意見	回答
<p>・無電柱化事業について、不具合が発生した場合などに莫大な費用が発生するのではないのか。</p>	<p>・無電柱化の手法については、電線共同溝方式や軒下配線方式などがある中、篠山市においては、無電柱化しようとしている道路の状況や費用等を総合的に勘案しながら検討していくよう議会として注視、議論していきたいと考えます。</p>
<p>・ふるさと篠山に住もう帰ろう運動推進事業について、約2,000万円の執行残額があった要因は何か。また、定住に係る施策の効果等、議会として分析する必要があるのではないのか。</p>	<p>・当該事業の中に、若者定住住宅補助金という事業があります。この補助金は、若い方に定住していただくため、新築または改修費用を補助するものである中、執行率が50%強程度に留まり、住宅に係る補助という性質上、約2,000万円の残額が出ることとなったと考えられます。</p> <p>過去に議会として分析を行っています。市内に8地区の重点地区があり、それぞれに増加・減少の動きがある中、村雲地区については効果があるという状況にあります。また、市全体で見た場合に、若い世代の転入と転出を差し引きすると、転入超過になるときもあります。こうした傾向が、ただのトレンドなのか、施策の効果によるものであるのかについては、長期的に分析する必要があると考えていますが、効果がないと言い切れる状況にはないと考えています。</p>
<p>・駅前の活性化させる振興施策について、アイデアはあるのか。</p>	<p>・篠山口駅西側の周辺は、過去に土地利用の集積も計画されてきた経過もあり、整った都市基盤を活かした地域主導の展開が期待されるところで。一方、駅東側周辺は、対照的に道路状況が不十分な面もあり、すぐに有効な振興施策は考えられない状況と認識しているところです。ご意見があったことを議会で共有します。</p>
<p>・最終的に地方自治体の運営責任を持つ主体は国か、それとも当該地方自治体か。</p>	<p>・自治事務の範囲においては当該地方自治体が、法定受託事務の範囲においては、定められた法律等に従っている限り国が運営責任を持つものと考えます。</p>